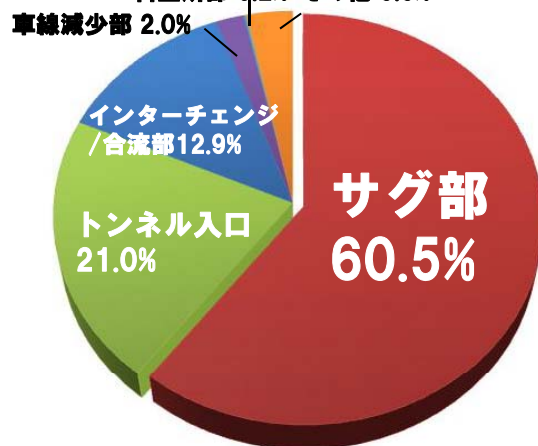


「高速道路サグ部交通円滑化システム」の概要

国土技術政策総合研究所は、高速道路渋滞の約6割がサグ※とよばれる勾配変化区間で発生していることを受け、「高速道路サグ部等交通円滑化研究会」を発足。有識者の指導の下、自動車メーカーと共同で道路と自動車が連携した「高速道路サグ部等交通円滑化システム」の渋滞解消を目指す交通円滑化サービスの研究開発を行っています。

2011年渋滞量 105,649km・h
料金所部 0.2% その他 3.3%

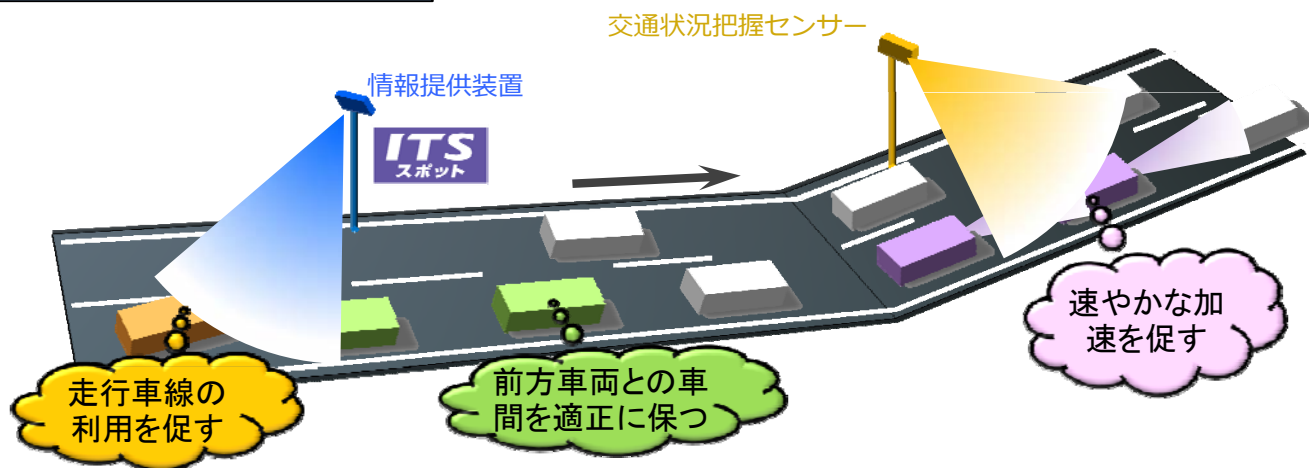


※サグとは??



サグとは、下り勾配から上り勾配へ変化する区間のことをいいます。ドライバーが緩やかな勾配の変化による車両の速度低下に気づかず、車群全体の速度が低下し、渋滞が発生します。我が国のサグの主要渋滞ポイントは135箇所あります。

交通円滑化サービスの概要



サービス1：車線利用適正化サービス

空いている走行車線の利用を促す情報をドライバに提供して、車線利用の平準化を図ります。

サービス2：速度回復サービス

渋滞区間が終了したことをドライバに知らせ、速やかな速度回復を促すことで、早期の渋滞解消を図ります。

サービス3：車間適正化サービス

その時の交通状況に応じた適切な車間や速度の情報をドライバに提供し、減速波の起こりにくい交通流を維持します。